

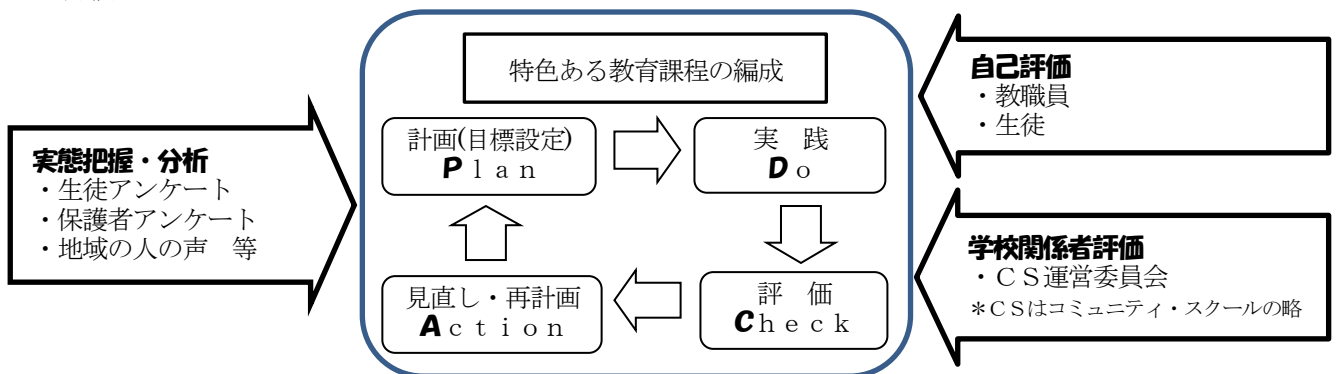
<令和元年度学校評価の結果>

津島市立 神 守 中学校

◎ 学校評価の目的

教師による評価だけでなく、学習の主体者の生徒、そして保護者に広くアンケートを行い、達成状況や教育活動を適切に評価し、Plan・Do・Check・Action サイクルを繰り返しながら、組織的かつ継続的な改善に努めることを目的としています。

※評価のPlan・Do・Check・Actionモデル



○ 学校評価（生徒・保護者・教師アンケート）の回答数

- ・ 生徒 455名（475名在籍）
- ・ 保護者 416名（436家庭） *兄弟で複数回答いただいた家庭があります
- ・ 教師 31名（31名在籍）

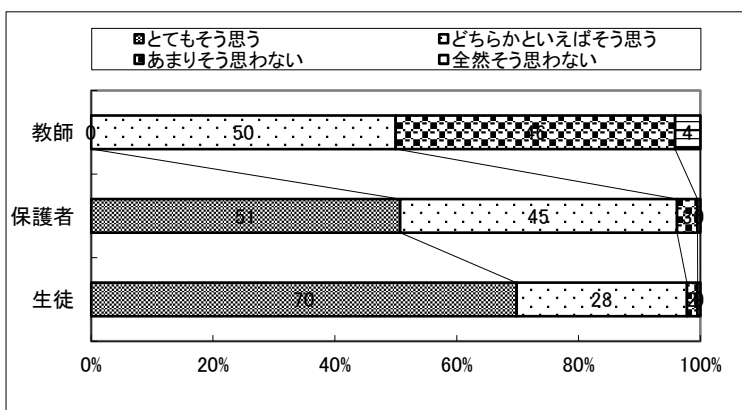
○ 学校評価（生徒・保護者・教師アンケート）の分析

全20の設問について、各設問ごとに、教師・保護者・生徒の順にグラフで並べました。そして、前年度のものと比較しながら、問題ととらえられる部分について分析・考察しました。

※グラフの凡例

- とても思う
- どちらかといえば思う
- あまり思わない
- 全然思わない

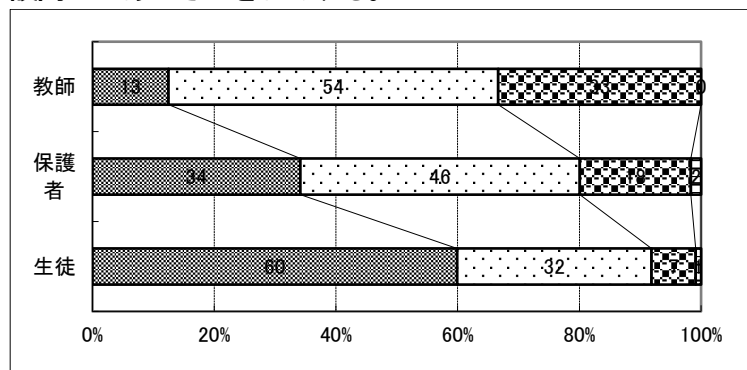
設問1 交通法規に気を付けて登下校している。



交通法規に気を付けていると答える生徒が多数を占めますが、自転車の並進運転や道路の斜め横断、一時不停止などの実態はまだ十分に改善されたとは言えません。地域の方からの交通違反の連絡もいただきます。

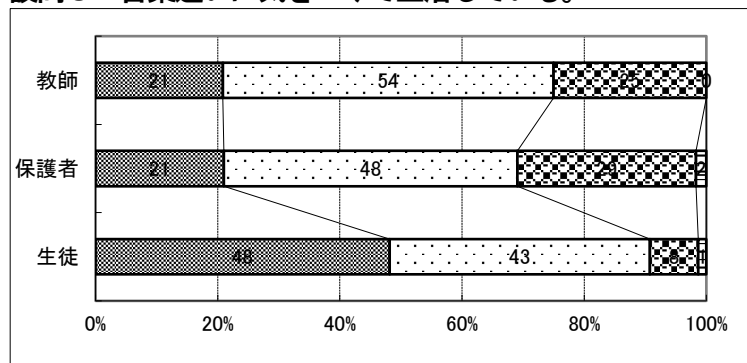
教師の巡回指導や学年、学級、部活動等での呼びかけを今まで以上に行い、生徒の交通法規遵守への意識が向上するように努めていきます。また、通学路の見直しも検討していきます。

設問2 あいさつをよくする。



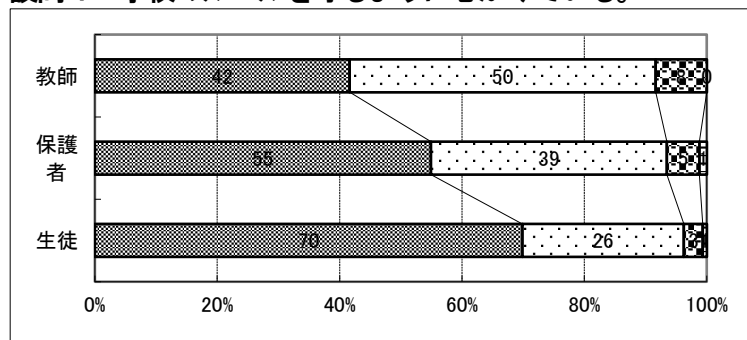
保護者や地域の皆様が来校された際に、「あいさつがしっかりできる生徒が多い」という声を多くいただきます。これも各方面の皆様の温かい声かけの賜と感謝しています。ただ、4, 5年前に比べると「先にあいさつのできる生徒」が減少したと残念に感じている教師の割合は増えました。今後も生徒自身があいさつの大切さを意識できるように指導していきます。

設問3 言葉遣いに気をつけて生活している。



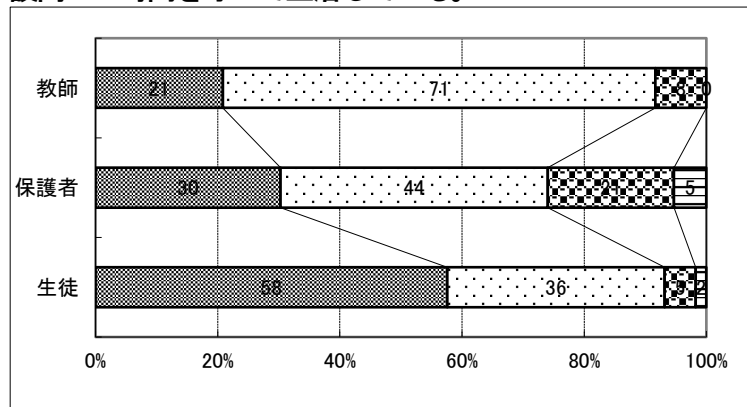
昨年度の数値とほとんど変わっていません。言葉遣いによく気を付けていると感じている教師の割合は増えました。今後も時と場所を考えて、敬語がきちんと使いこなせるように指導していきます。また、学校全体でよりよい人間関係をつくることのできるよう取り組んでいきます。

設問4 学校のルールを守るように心がけている。



どの立場でも、「学校のルール」「時間」「決まり」を遵守し、規律正しい学校生活を送ることができています。今年度、教師の「よくできている」割合がかなり増加しました。

設問5 時間を守って生活している。

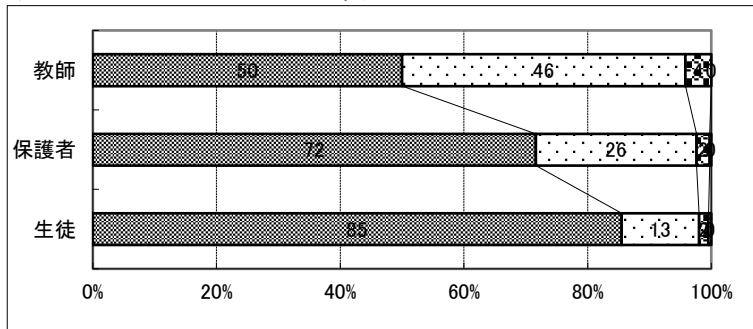


「時間」についての設問では、保護者の皆様の中に、時間を守ることが十分にできていないというご意見が多くありました。学校ではチャイムや曲に合わせて行動したり、学級での声掛けなどに取り組んでいます。

しかし、家庭では時計を見て自分で意識をして行動しないといけません。

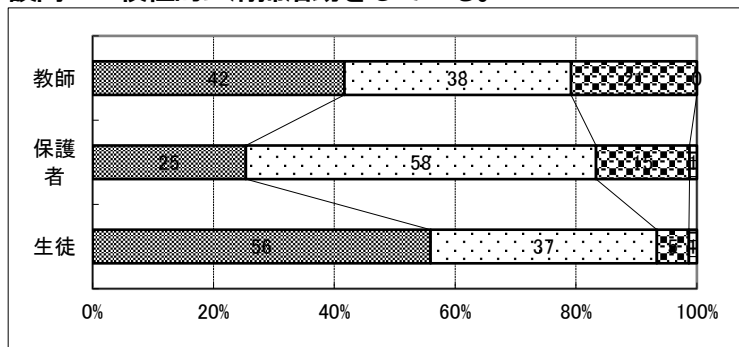
時間を守るということは、自分の信用を高めるためにも不可欠であるということを生徒自身が意識できるように今後も指導していく必要があると考えます。

設問6 決まりを守った服装に心がけている。



服装については、例年通り高いポイントを示しています。学生服の首元やセーラー服の袖のホックなどといった細かいところまで、他人にだらしのない印象を与えないよう、指導していきます。

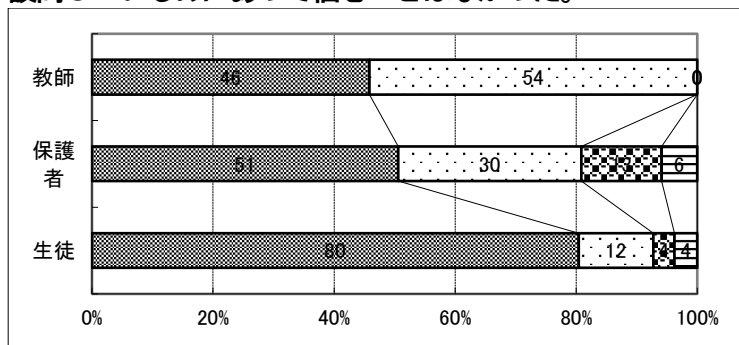
設問7 積極的に清掃活動をしている。



3年目になる無言清掃もかなり定着しています。清掃中にいらっしゃったお客様から褒められることも多くなってきました。

自分たちの環境を自分たちで良くしていく気持ちを育てていきたいと思っています。今後も、生徒とともに、毎日の生活を気持ちよく過ごすことができる環境づくりに努めていきたいと思ひます。

設問8 いじめにあつて悩むことはなかつた。

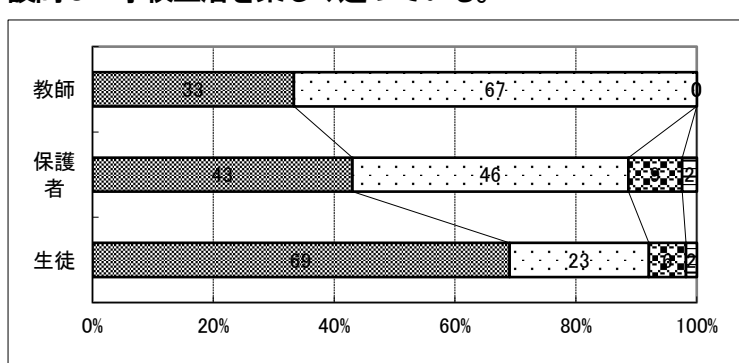


保護者の「そう思う」という割合が増えたことは喜ばしいことです。

人とかかわりの中でいやな思いをするといった声をよく耳にします。学年、学級、部活動等での見守りやアンケートなどを通して生徒の悩みを早めに把握するように努めています。

今後もいじめの予防、早期発見、早期対応に努めていきます。ご家庭で気になることがありましたらお知らせください。

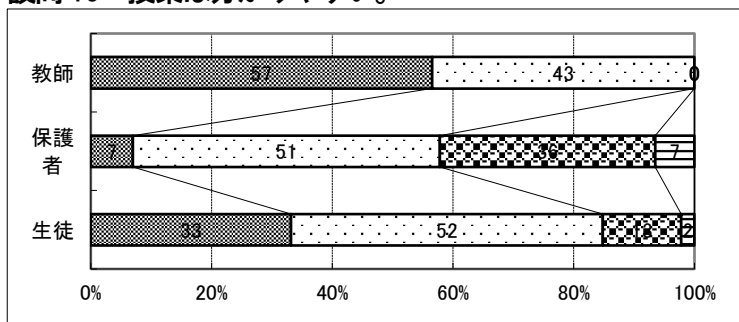
設問9 学校生活を楽しく送っている。



生徒の「とても思う」「どちらかといえば思う」という回答が年々増加していることをうれしく思ひます。

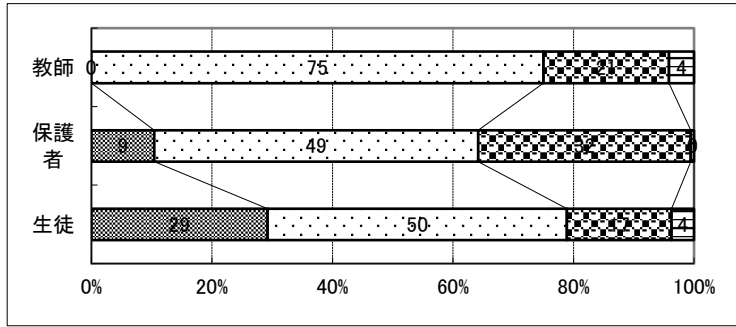
しかし中には悩んだり、嫌な思いをしたりしている生徒がいることを教師・が受けとめ、温かい目を配り、声かけられる学校づくりをめざして今後も親身になって対応していきます。

設問10 授業は分かりやすい。



昨年度とほとんど変わっていません。教師一同、真摯に反省し、改善に努めます。独りよがりの授業実践にならないよう校内研修を進めたり、ICTの利用をさらに進めたりして、生徒がより理解がすすむ授業・学力を高める授業を教員一丸となって高めていきます。

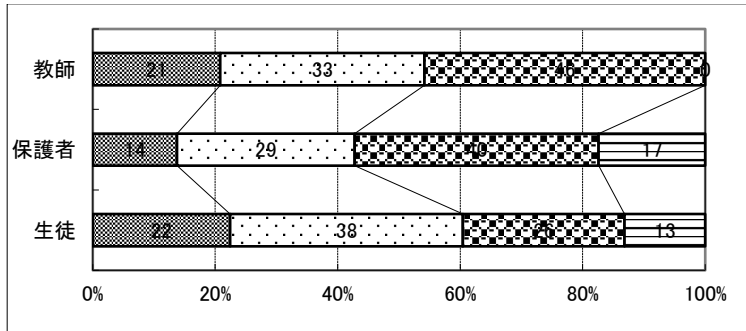
設問 11 授業で基礎・基本が身につけてきている。



生徒の基礎・基本が身につけていないことを教師がどのように認識し、克服していくか真剣に考える必要性を感じます。

生徒が日頃の授業や課題に地道に取り組むことができるように支援してきましたが、さらに方法を改善し、今後一人一人が力をつけるよう声かけを継続していきたいと考えます。

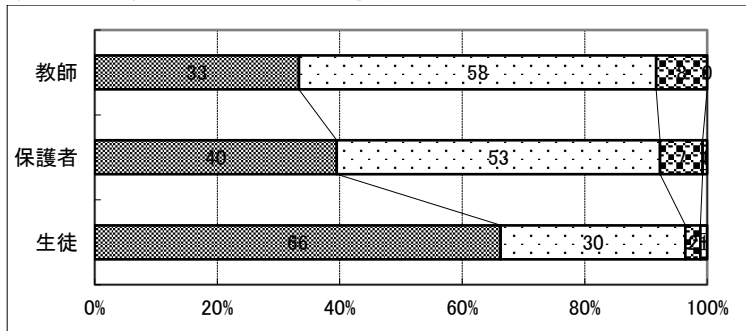
設問 12 授業で発言・発表・質問に心がけている。



教師、生徒の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という肯定的な割合が増えたことはよかったですと思います。

これからの学習は、生徒同士の対話の中で進めていく形式が重視されます。より積極的に発言・発表ができるような授業づくりや質問しやすい雰囲気づくりをさらに進めていきます。

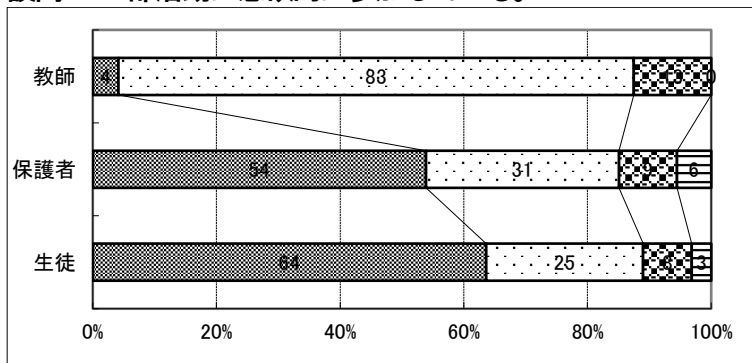
設問 13 友達を大切にして学校生活を送っている。



教師の「そう思う」が増えました。おおむね肯定的な回答を生徒や保護者の皆様の回答からいただいています。

しかし、SNS などを使って、相手の気持ちを十分考えずに自分の感情を相手にぶつけてしまうこともしばしば見られました。信頼関係を築くにはどうしたらよいかを考えながら指導を進めます。

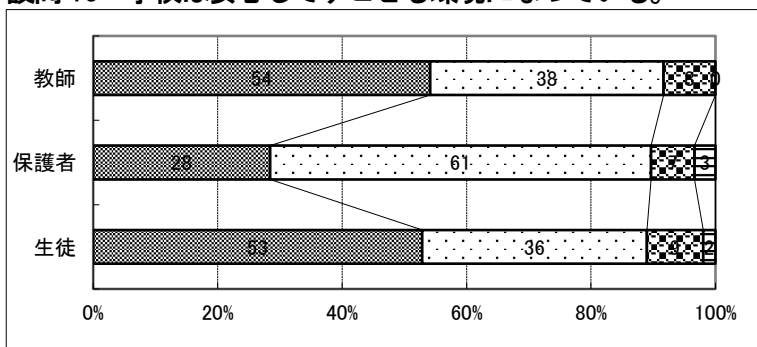
設問 14 部活動に意欲的に参加している。



市の部活動ガイドラインなどで部活動の時間が見直されてきました。短い時間の中で意欲的に参加している生徒が多く見られます。教師も効率よく、質の高い指導ができるよう日々、研修を行っていかなくてはなりません。

今後も、自主的・実践的な態度を育て、意欲的に活動する生徒の育成に努めていきます。

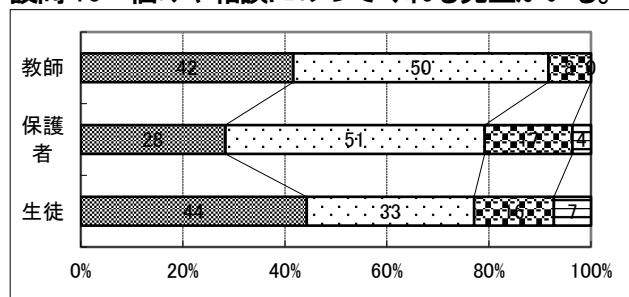
設問 15 学校は安心してすごせる環境になっている。



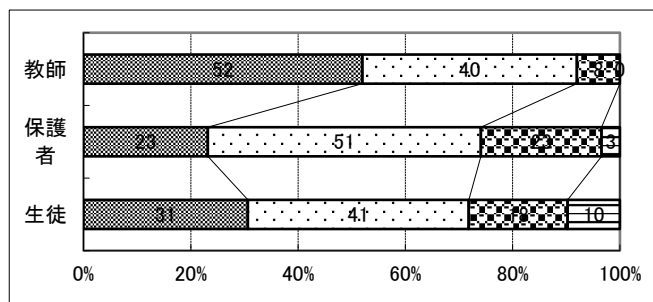
教師、生徒の「そう思う」の割合が増加していますが、まだまだ不十分な点もたくさんあります。今年度はエアコンを設置もあり、学習しやすい環境づくりの向上になったと思います。

古い施設ですが入念に点検を行い、今後も安心して過ごせる環境整備に努めていきます。

設問 16 悩みや相談にのってくれる先生がいる。



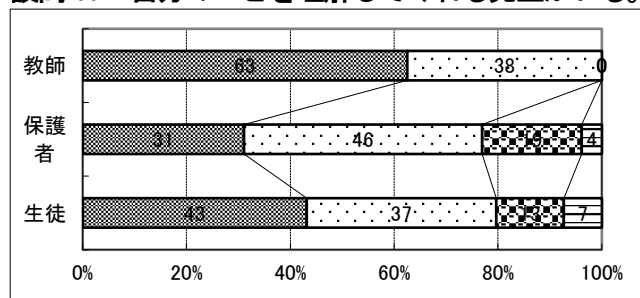
〈今年度〉



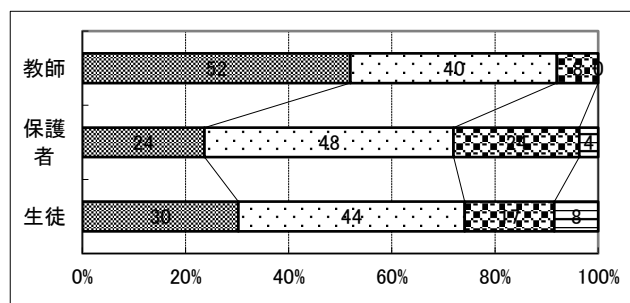
〈昨年度〉

「とてもそう思う」と答えた生徒がかなり増えたことはよかったですと思います。生徒の悩みに共感しながら耳を傾け、解決に向けて共に考えることができるような教師であるようにさらに心がけていきたいと思います。

設問 17 自分のことを理解してくれる先生がいる。



〈今年度〉

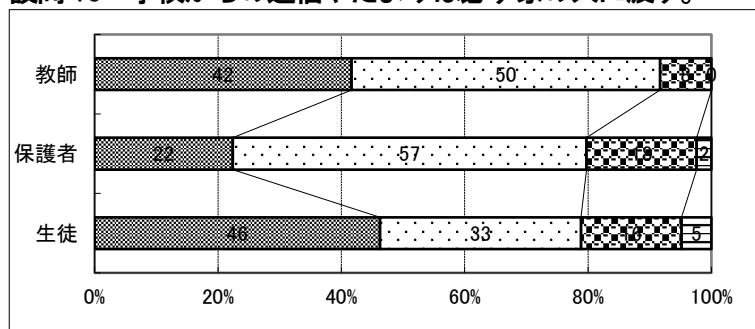


〈昨年度〉

「そう思う」と答えた生徒が増えました。また、心のつながりを大切に、生徒の心の居場所づくりに努めようと心掛けている教師の割合も増えました。

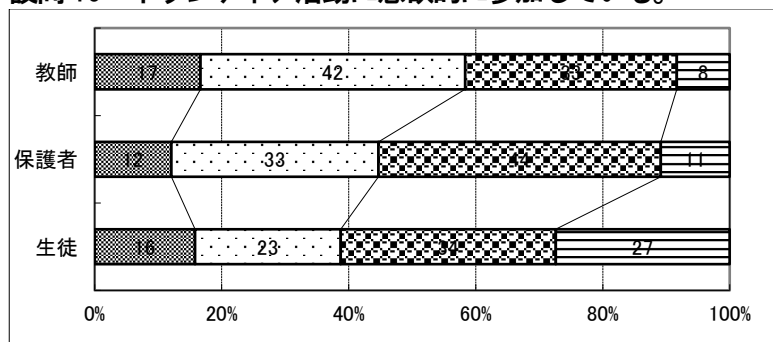
一緒に悩み、考えることができるよう、今後も努めていきます。

設問 18 学校からの通信やたよりは必ず家の人に渡す。



行事の案内、学校・学年通信、保健便り、PTA広報等の配布を行っています。保護者の皆様の手には渡っていないとの声をよく聞きます。学校からの配布物はホームページでも掲載しておりますので、チェックしていただければありがたいと思います。ご家庭でも配布物の有無について、確認をお願いします。

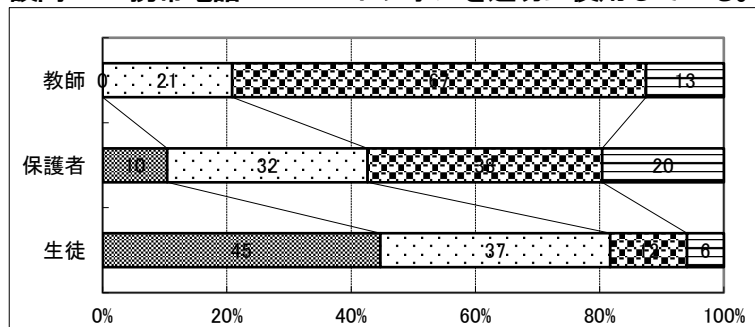
設問 19 ボランティア活動に意欲的に参加している。



どの立場でも「そう思う」の割合が増えています。今年度も、夏祭りやコミュニティ祭りなど、地域行事の支援等のボランティアにのべ100名以上の生徒が参加しました。地域からも感謝の声を多くいただきました。

このような活動ができる中学校はなかなかありません。お子さんに声をかけていただくとよいと思います。

設問 20 携帯電話・スマートフォンを適切に使用している。



スマートフォンでのSNS等で不用意な言葉を使うことによるトラブルをよく耳にします。その都度、スマートフォン等の正しい使い方を指導してきました。

保護者の皆様にも、研修会に参加いただく機会を設けるなど情報の共有を進めてきました。

ご家庭でも我が家の使用ルールについて、話し合いの場を作って決めていただけるとありがたいです。

—自由記述—

※ 寄せられた貴重なご意見は、全職員が目を通させていただき、改善できることから取り組んでいきます。ここでは、複数出されたものについて記述させていただきました。

【学習面】

○ 通学時に荷物が重すぎて、体に悪いと心配になるくらいです。先生も一度生徒がどれほど重い荷物を持って登校しているのかも一度確認してください。

→ 現在の教科書は、大版でカラー刷りになり、紙の質もよくなり重くなっています。また各教科で副教材も精選はしていますが必要となっています。

学習内容を確実に定着させるには、何よりも復習が大切です。その日に学習したことを自宅で復習するためには、教科書は必要です。基礎学力の向上のためには日頃からの地道な学習習慣が大切です。昨年度より、家庭学習に必要な資料集などの副教材および美術のデザインセットや音楽のリコーダーなどは学校で保管し、持ち帰りしなくても良いようにしていますが、まだ重いというのが現実です。プリント類の精選なども考える必要があると感じています。今後も登下校の持ち物の軽減に向けて検討をしていきます。

【生活面】

○ 部活動について

土日などの部活欠席も同級生に伝えればよいと言われますが、報告義務は保護者、出欠確認義務は顧問にあるのではないのでしょうか。

→ 現在、津島市では土日は留守番電話対応をさせていただいております。そのため、顧問が指定した連絡方法で欠席連絡をしていただきたいと思います。また、部活開始時点で連絡のない生徒については顧問から連絡をするようにします。事前に欠席がわかっている場合は、予め生徒から顧問に伝えていただけるとありがたいです。

土日の練習時間が守られていません。決めた時間（例 8:30～12:00）で、中身のある練習を意識してもらえないのでしょうか。

→ 部活動の時間については、スポーツ庁や愛知県教育委員会が策定したガイドラインに沿って、土日は3時間程度、回数などもルールに則って減らして行っています。長時間の練習や帰宅時刻が不明にならないよう、今後十分に配慮させていただきます。

【環境面】

○ 廊下がすべる。カーテンが小さかったり、まぶしかったりする。（生徒より）

→ 生徒の生活環境をよりよくしていくことはとても大切なことです。小規模なものは学校に振り分けられた予算やPTA会費などの中から、できることから随時改善していきたいと考えています。

また大規模なものについては教育委員会に相談をさせていただき、よりよい環境づくりをめざして進めていきたいと思っています。